

平成 31 年度

公益財団法人駒ヶ根市文化財団

事業計画及び予算書 (案)

(公財) 駒ヶ根市文化財団

公益財団法人 駒ヶ根市文化財団

平成31年度 事業計画概要 (案)

公益財団法人駒ヶ根市文化財団は、駒ヶ根市との指定管理に関する協定に基づき、生涯学習・文化芸術の拠点施設である駒ヶ根総合文化センター及び天竜かっぱ広場の管理運営にあたります。

これまでに当財団が培った地域社会及び関係団体との信頼関係、更には専門的な知識や技術の集積と経験を活かし、関連施設全体のより一層の効率的・有機的な運営に努め、市民サービスの向上を図るとともに、更なる教育環境の充実と文化芸術の振興が図られるよう努めてまいります。

また、当財団は、公益財団法人への移行を機に法人運営の在り方や各館の事業内容の見直しを進めておりますが、今後も、自己改革の手を緩めることなく、皆様の期待に応えられるよう、なお一層の資質向上を図ってまいりますので、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

なお、本年度は、市指定管理者として再指定され4年目となり、駒ヶ根総合文化センター及び天竜かっぱ広場ともに指定期間は、平成28年度から平成32年度までの5年間であります。

運営方針(サービスに関する基本的な考え方)

1 生涯学習・文化芸術の拠点施設としての総合文化センター

図書館、博物館、文化会館、勤労青少年ホーム及び女性ふれあい館からなる総合文化センター全施設の融合を図るとともに、市内の社会教育関係機関等との連携を図りながら、利用者の声を大切に、真の市民の生涯学習・文化芸術の拠点となるよう、指定管理者として効果的・効率的な運営に努めてまいります。

平成31年度も引き続き、当財団の強みの一つである複合施設のメリットを活かしながら、各館連携のもと、多様な学習機会を提供できるよう、各種事業に取り組んでまいります。

なお、経年による施設・設備の老朽化が進んでいるため、業務に支障の生じないよう計画的に改修等を実施するとともに、長期改修(リニューアル)計画の見直しを図ってまいります。

2 文化会館

* 年度協定で定められた予算の範囲内で自主事業を計画し、市民に優れた芸術鑑賞の機会を提供します。年間18本程の事業を実施し10千人の観客動員を目指します。

* 全面的に演目の見直しを行うとともに、有識者からの意見聴取及び利用者アンケートなどにより市民要望を的確に把握しながら、安価で質の高い芸術性豊かな公演等を提供します。

* 地元出身者による公演や市民参加型事業に力を入れるとともに、ニーズの多い中高年を中心に、子どもからお年寄りまでの幅広い年代層に足を運んでいただけるよう取り組みます。

* 竜東地域の皆様などの交通手段に配慮してまいります。

* 次世代の育成に目を向け、ジュニア市民(子ども達)が参加できる事業の充実を図ります。

* 施設の貸付にあたっては、公益性の高い市民的行事等は優先的に受け付け、市の減免基準に基づき利用料を減免しながら、市民の利用しやすい環境づくりに努め、施設の稼働率

を高めます。自主事業を含めた年間の利用者目標を 65 千人とします。

3 図書館

- * 一般図書と専門図書の均衡ある収集に努め、図書資料の充実を図りながら、あらゆる利用者の学習ニーズに対応します。蔵書目標は 190.0 千冊、年間貸出は 210.0 千冊を目標とします。
- * 業務に精通した有資格職員の配置を進め、レファレンスサービスの充実、図書館ネットワークの効果的な活用によりサービスの質を深めます。
- * 平成29年度末に策定した第3次駒ヶ根市子ども読書活動推進計画を推進します。
- * 地域資料、貴重資料のデータベース化を図り、公開することにより、利用者のニーズに合った情報サービスを目指します。
- * 学校図書館と公共図書館で連携してアクティブ・ラーニングに対応できるように「図書館を使った調べる学習コンクール」を推進します。
- * 児童図書は読書推進に繋がる良書の収集に努めるとともに、調べる学習(アクティブ・ラーニング)により充実した対応ができる参考図書の収集に努めます。
- * 利用者のニーズや時代に即した事業を精査し、その充実に努めます。
- * 高齢者への読書サービスを推進します。

4 博物館

- * 収蔵する約 127 千点の民俗・考古・歴史・自然資料の適正保存に努めるとともに、その有効活用を検討し、公開展示、教育普及事業を実施します。また、資料収集を継続的に実施し、貴重な資料が廃棄・処分されてしまわないように啓蒙活動も実施していく。
- * 複合施設の利点を活かしつつ、関係機関や市民研究団体等と連携し、講座や展示の充実を図り市民に郷土研究、学習の場を提供します。また、これらの活動を通じ、郷土の文化財や自然に対する理解、保存の意識の高揚に努めます。
- * 市内芸術家で構成される「駒展実行員会」と連絡・協調を高め、「駒展」をより充実させていく。また、同時開催の「ジュニア駒展」を充実させていくために、市内小中学校との連携をより深め、児童・生徒の芸術活動の推進を図ります。
- * 展示室及び展示ロビーを市民の発表の場として活用し、文化芸術の発信基地としての事業の充実に努めます。
- * 市内文化財(人文系・自然系全般)の調査研究活動をより充実させ、平成28年度に一新した専門研究員の活動を充実させるとともに、博物館活動の情報発信の手段としての博物館報を充実させる。

5 勤労青少年ホーム・女性ふれあい館

- * 伊南地区在住・在勤の方(学生は除く)と女性の皆様を対象とした講座を年間約20講座、受講者数250名を目標として開設します。若年層を対象に、仕事終わりや休日にリフレッシュができるスポーツ・アウトドアなどの講座、子育て中のお母さんが家庭の外に出て気分転換できるよう、小さなお子様とも一緒に参加できる講座、また、余暇を使い趣味・技能・健康づくりの講座など、継続する講座と市民ニーズを把握しながら、新規講座の立ち上げに努めます。

- * 勤労青少年及び女性の自主的なサークル活動を支援するために、活動が円滑に行える環境づくりと必要に応じて助言指導にあたります。また「利用者の会」を組織して、世代を超えた利用者相互の交流を促し、社会貢献活動にも取り組めるよう配慮します。
- * 貸館利用を含めた年間利用者数の目標を 27 千人とします。

6 天竜かっぱ広場

- * おもしろかっぱ館が所蔵する河童の諸作品や諸資料を生かした、親しみやすい展示を実施します。また、他の教育機関や観光・産業施設などと連携して、入館者の増加を図ります。天竜かっぱ広場の管理を適切に行い、多くの市民の皆さんが利用できるようにします。年間有料入館者の目標を 2,000 人とします。
- * 市民が郷土の文化や自然への理解を深め、家族のきずなを強め、地域コミュニティの充実を図れるよう、特別展、ふれあい講座、ミニほっと講座を開催します。伝説と歴史を語り伝え、郷土の文化・歴史・自然を楽しく学んでいただく事を目指します。
- * 地域住民組織や観光協会と連携しながら、竜東の玄関口にある立地の良さを活かして、地域行事、体験交流型イベント及び観光案内に協力・参画し、地域振興に貢献できるよう取り組みます。また、プチ観光案内所として、特に竜東地区の観光案内に努めます。

7 財団奨励賞

- * 平成 15 年度より、文化振興事業積立資産(旧財団基金)の運用益を基とする「財団奨励賞」の事業を実施しています。今年度も、駒ヶ根市における文化芸術の振興と文化的環境の充実を図るため、文化芸術に貢献し、実績のある個人・団体を顕彰します。また、青少年の文化芸術振興を図るため「ジュニア駒展」について、駒展実行委員会と共に、継続実施してまいります。

8 その他

- * 市民の憩いの場であるすずらん公園「平和の森」は、こまかっぱ噴水施設が設置された事をふまえながら公園全体の景観整備を図ります。
- * 施設、設備の適切な管理・保全に努めます。

平成31年度 駒ヶ根市文化会館自主事業計画及び収支見込(案)

平成31年2月15日

市民参加型 教育/育成型 育成型 鑑賞型	公演日	演目	文化会館事業費				文化会館事業収益					合計	
			出演料・負担・補助金	諸経費	広告宣伝費	合計	入場料金/席種	入場者	チケット収入	その他収入	受託収入【委託料】		
	6月9日(日)	第32回郷土芸能まつり	負 200,000	0	0	200,000	自由	無料	800	0	0	200,000	200,000
	11月24日(日)	第60回 駒ヶ根市民音楽祭	負 200,000	0	0	200,000	自由	無料	800	0	0	200,000	200,000
	2月22・23日(土・日)	A-Stock Theater Komagane 事業	補 500,000	0	0	500,000	自由	500	1,000	0	0	500,000	500,000
教育/育成型	4月～	むつのを ジュニア和楽器講座	0	0	0	0	参加費	5,000	20	0	0	0	0
育成型	7月12日(金)	アンサンブル信州in宮田鑑賞教室	0	0	0	0	鑑賞	無料	700	0	0	0	0
	8月25日(日)	駒ヶ根高原音楽祭マスタークラスコンサート	0	0	0	0	自由	1,000	500	0	0	0	0
	3月	信毎駒ヶ根文化講演会	負 1,200,000	50,000	50,000	1,300,000	自由	無料	900	0	0	1,300,000	1,300,000
	7月	優秀映画鑑賞事業	0	50,000	100,000	150,000	自由	500	40	20,000	0	130,000	150,000
育成型	9月15日(日)	伊南子ども劇場共催事業	負 250,000	0	0	250,000	自由	0	500	0	0	250,000	250,000
		駒ヶ根音楽文化協会共催事業	負 250,000	0	0	250,000	自由	2,000	500	0	0	250,000	250,000
	11月21日(木)	アクトースセミナー伊那塾共催事業(演劇)	負 250,000	0	0	250,000			600	0	0	250,000	250,000
		友の会事業(観劇ツアー他)	0	800,000	0	800,000			20	0	740,000	60,000	800,000
鑑賞型	12月4日(木)	演歌 川中美幸コンサート	負 1,800,000	250,000	150,000	2,200,000	指定	6,000	800	480,000	20,000	1,700,000	2,200,000
	7月12日(金)	アンサンブル信州in宮田 第17回定期演奏会	0	0	0	0	一般	3,000	600	0	0	0	0
							高校生	2,000	100	0	0	0	0
	8月20日(火)	駒ヶ根高原音楽祭 第60回オーブニングガラコンサート	負 500,000	0	0	500,000	指定	6,500	300	0	0	500,000	500,000
	3月	財津和夫コンサート	出 7,500,000	600,000	400,000	8,500,000	指定	6,500	800	5,200,000	20,000	3,280,000	8,500,000
	1月	駒ヶ根楽語会	出 2,200,000	10,000	310,000	2,520,000	S	4,000	400	1,600,000		360,000	2,520,000
	1月	新春ハレエ祝賀コンサート(オフィス・ミュ共催)	出 0	20,000	0	20,000	A	3,000	150	450,000	10,000		
	不採択	宝くまの音楽会 南こうせつ with ウーファン	出 0	0	0	0	B	2,000	50	100,000			
		共通経費・その他収入		0	800,000	200,000	1,000,000	一般	4,000	700	0	20,000	20,000
				0	0	0				0	0	0	0
			出 9,700,000										
			負 4,650,000										
			補 500,000										
			計 14,850,000										
		合計		2,580,000	1,210,000	18,640,000			10,480	7,850,000	790,000	10,000,000	18,640,000

事業の特色

見直し内容

- 1.地元出身者等との共催(佐野成宏氏企画のコンサート、オフィス・ミュ)
- 2.市民参加型事業の充実(郷土芸能まつり、市民音楽祭・ジュニア和楽器隊)並びに市民企画公募型事業の継続支援
- 3.幅広い年代層への会館利用の促進(主に中高年向けコンサート)
- 4.地元鑑賞団体等との共催事業(伊南子ども劇場・駒ヶ根音楽文化協会・アクトースセミナー伊那塾)
- 5.会員向け観劇バスツアーの企画

1.取り止め事業等

劇団四季ミュージカル、「むつのを」、ケロボンス

地元出身者出演の見直し(取り止め、内容検討の要望)

2.追加事業等

財津和夫、ハレエコンサート、文化講演会負担金の値上げ

高齢者等の交通手段への配慮、開催時期の調整

「駒ヶ根市図書館サービスの基本計画」に基づき、図書館サービスの向上を図る

◎重点項目

1. 資料の収集と提供

- ◎郷土資料や行政資料の積極的な収集と整理及び、当市の重点政策をふまえた関連資料の収集・提供・開示
- ◎加島文庫（中沢区 故「加島祥造」氏寄贈）の継続整備・登録作業（複数年度に亘る整備計画）
- ◎資料の順次データベース化を行い、将来への適性保存を図る
 - 導入済：信濃毎日新聞、国立国会図書館デジタルコレクション、法規法令（第一法規）
 - 導入検討：農山漁村文化協会の農業支援、朝日新聞、中日新聞 ⇒ 新聞資料の保管

2. 新たな中期目標「第三次駒ヶ根市子ども読書活動推進計画（H30～34年度の5ヶ年計画）」の実施

- ◎全館で取り組む「アクティブラーニング」支援のための「調べる学習コンクール」を継続実施
- ◎「家族読書の日（毎月第3水曜日／Water Day）」を関係諸機関と連携して更に普及させ、主に家庭での読書習慣の定着と読書環境の促進を図る
 - 6ヶ月児「ブックスタート ～はじめての本～」事業、2歳3ヶ月児「セカンドブック」事業（いずれも子育て支援事業／読み聞かせ実演・絵本プレゼント）、小学校新入生「サードブック」事業（読育支援／学校司書・司書教諭と連携、おすすめブックリストの配布等）
 - 「よみーくちゃん巡回」事業（全ての幼保園、子育て支援C、まあるくなあれ、レディースクリニックあそびのもり、赤穂公民館親子学級への絵本巡回）
 - 乳幼児から小学生を対象とした「おはなし会」の開催の他、子供向け各事業（紙芝居会、お楽しみ会、クリスマス会等）の実施
 - 地域への出前事業「お出かけ図書館」による館外活動の実施（幼保園、子育て団体、子ども交流センター、公民館分館、地域自治組合、こころの医療センター等へ）
 - 「どこでもブックシェルフ（市内施設へ図書コーナー設置）」の充実（設置済み／アルパ、予定／ふれあいセンター・中アロープウェイ乗り場、こころの医療センターなど）

3. 利用者サービスを充実させ、地域から信頼される生涯学習の拠点施設を目指す

- ◎レファレンス（調べ事・相談依頼）に応えられる資料の購入・整備・提供と職員の資質向上⇒県図書館協会等が開催する研修会へ、学校司書を含め積極的な参加及び市内司書会の充実
- ◎読み聞かせボランティア研修会、駒リブ生き活き講座、四季のおはなし会（一般成人対象）等を開催し、資料提供分野以外で地域へ貢献できる事業や講座の開催
- ◎読書通帳機や書籍除菌機等の「利用者の利便性と快適性を図る機器」の導入検討
 - 「コーナー展示」時事話題や社会の重要出来事を、タイムリーに特集展示（一般・児童ごとに毎月入替え）
 - 情報コーナー（公開PC3台）、AVコーナー（視聴デッキ5台）、学習室の提供と、情報劣化機器の入替え
 - 広報紙、ホームページをはじめとする情報発信媒体の充実と広報宣伝活動の工夫
 - 年齢やテーマに応じた資料の分かりやすい配架（目的資料の探しやすさ）と総合的に館を利用しやすい工夫

4. 関係機関との連携・協力

- ◎公共図書館（3館）と全ての学校図書館（7校）が同組織の職員であり、システムも共有化している利点を活かし、人的にも資料的にも2の「子ども読書活動」の一層の推進に全館を挙げて取り組む
- ◎図書館システムの更新について、近隣図書館と検討していく
- ◎上伊那協会9館を中心とした地域の公共図書館間における、情報共有や連携を密とした横の繋がりの強化
 - 県内公共図書館を主とした相互貸借制度（自館にない書籍の貸借）の活用

5. 市民が快適に訪れ、過ごすことのできる図書館

- ◎開館30数年を経た老朽設備の順次更新を行い、利用者が過ごしやすく、利用者に優しい環境の整備
- ◎同様の年数を経た中沢分館・東伊那分館の館内設備の順次更新と、資料の見直し・充実を図り、竜東地域住民の利用拡大・促進に努める

6. 目標値

蔵書数（登録資料+竹村文庫の教科書資料+未登録図書）

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度(見込)	31年度(目標)
蔵書冊数	185,598	186,847	186,003	189,000	189,500	190,000
貸出冊数	202,010	220,724	210,678	211,524	212,000	212,500

7. その他

- 「市雑誌スポンサー制度」を活用しての雑誌資料の増加と充実（1期3年）

平成31年度博物館事業計画

駒ヶ根市立博物館

1 展示事業

従来通りの博物館企画による展示と一般市民（団体・個人）の共催事業として実施する展示を行っていく。

・博物館主催による企画展の実施

ア 第18回「駒展」・第4回「ジュニア駒展」 同時開催

- ・ジュニア駒展は29年度展示点数と同じ作品数。
- ・駒展は高校生の県展入選者を本年度同様出品者として展示する。

イ 博物館企画展（特別展）「登戸研究所と帝銀毒殺事件」

登戸研究所調査研究会共催

ウ 博物館専門研究員の調査・研究成果の展示

- ・館報により、専門研究員の活動報告集が定着しつつある。が一方展示における発表がここ数年実施されていないので、埋蔵文化財を含めた展示を専門研究員と検討していく。

エ 館収蔵品の公開と情報発信のための企画展の開催

（自然関連展示「昆虫展」・考古資料・掛け軸等芸術資料）

オ 市内出身の通学者が多数通学する高等学校の文化部・芸術部へ呼びかけ、「卒業記念展」「文化芸術展」等の誘致を検討する。

近年高校生の美術・書道等の活動が活発化し各所で発表されている。その発表の場として博物館展示室も検討する選択肢となるよう働きかける。

・博物館共催事業

ア 市内及び近隣市町村で活躍する文化・芸術団体及び個人の活動発表の場として展示室及びロビーでの展示の充実を図る。

イ かつぱ館特別展示「登戸研究所関連パネル」への協力

2 教育普及活動

- ・「古文書初心者講座」・「郷土を知る会」・「登戸研究所研究会」を継続実施する。
- ・博物館専門研究員による各種団体の研修への講師の派遣や文化財見学などへの資料提供や案内の充実を図る。
- ・学校教育と積極的に関わり、資料の貸し出し、展示物の解説・案内などを通じ、郷土への興味や愛着を図る。

3 資料収集及び整理

- ・博物館報（第4集）の発行により、31年度の博物館資料収集状況、専門研究員の調査研究実績、企画展示内容の情報発信。
- ・御岳白尾テフラ（鼠川テフラ及び南田島テフラ）の現地確認の継続と周知活動
- ・中央アルプス国定公園化に伴う専門研究員による関連調査
- ・中央構造線、赤石構造帯（南アルプスジオパーク）露頭視察の継続実施

4 その他、文化財関連事業

- ・信州大学緑地生態学研究室学生による、「希少植物・外来植物」調査研究協力
- ・希少動植物保護条例に基づく調査、助言等の実施。
- ・駒ヶ根市指定文化財に関わる調査への協力。（文化財審議会への協力）

◎働く青少年及び女性に対して、日々の余暇を利用し、憩いやスポーツ・レクリエーション・文化教養等、余暇活動の場を積極的に提供し、身近で使いやすい施設を目指すとともに、社会人・職業人としての役割を積極的に果たすための、知識や能力を体得する場としての機能を持つことをねらいとする。

ホームの理念 『学び—憩い—集い—社会参加』

1 主催講座の開催

- ・勤労青少年・勤労女性の福祉向上に役立つ支援を行う。（相談・子育て支援等）
- ・職能取得、一般教養、趣味、健康、スポーツ等の内容で、ニーズをさぐりながら講座を開設する。
- ・前期・後期・単発のおよそ20講座を実施する。特に若いお母さんたちに好評な「ヨガ」、「リトミック」、「ピラティス」などの講座は前期・後期で開催し、多くの市民に受講していただく機会を設ける。

2 サークル（クラブ）の育成

- ・36サークル（クラブ）の利用室の調整等、明るく・楽しく・元気良く、活動しやすい場（会場）の提供、サークル内で起きた問題等の相談、また最近ではサークルメンバーの高齢化が目立つので、活動を継続出来る様に助言や協力を行う。
- ・一年間の学習の成果として、勤労青少年ホーム・女性ふれあい館合同での発表の機会（文化センターホーム祭）を設ける。
- ・主催講座からサークル（クラブ）へ移行できる様、助言、フォローを行う。

3 利用者の会支援

- ・会員数 約330名

役員及びサークル代表者を中心として世代を超えた相互の交流を深め、全会員が協力し合って、元気で主体的に運営できるよう支援する。

○事業内容

- ・全館清掃（6月実施）
- ・文化センターホーム祭（11月）
- ・活動記録「なかま」の編集発行（3月）
- ・女性ふれあい館の視察研修、利用者相互の親睦事業の実施
- ・勤労青少年ホームの視察研修、利用者相互の親睦事業の実施
- ・その他、サークル交流会(随時)等の実施

2019年度 おもしろかっぱ館 事業計画(案)

主な事業計画

1. 展示

- (1) 常設展 1、2Fギャラリー・1Fかっぱの妙薬展示室・2Fかっぱの妙薬DVD
- (2) 特別展「わが故郷に陸軍登戸研究所がやってきた！」(4月2日～20年3月28日)
・オープニングセレモニーを 4月6日に予定します。(前年4月7日土曜日開催)
- (3) その他
①天竜かっぱ祭り応募ポスター展示(昨年度30点) ②その他

2. 講座

- (1) ふれあい講座予定(一部未確定の部分があります)

	曜日	講座内容	対象	講師
第1回4月27日	(土)	春の星座観察会	親子・一般	日岐敏明
第2回5月25日	(土)	薬草学習会	一般	薬剤師会
第3回6月8日	(土)	松茸山の整備と増産について	一般	林東洋
第4回7月27日	(土)	下平～竜東の地形と地質について	一般	博物館々長
第5回8月3日	(土)	昆虫採集と標本の作り方	親子・一般	田中邦治
第6回9月28日	(土)	秋の星座観察会(土星)	親子・一般	日岐敏明
第7回10月19日	(土)	柿酢をつくってみませんか?	一般	宮下満智子
第8回10月26日	(土)	歴史編 城址巡り	一般	倉田文和
第9回11月16日	(土)	伝説と昔話	親子・一般	市立図書館
第10回12月7日(未定)	(土)	歴史編 陸軍登戸研究所(未定)	一般	未定
第11回1月25日	(土)	ドライフラワーアレンジに挑戦	一般	久保田ちず子
第12回2月15日	(土)	歴史編 井月と中沢(の人々)	一般	宮澤宏治

- (2) ミニほっと講座

・かっぱ館を一人でも多くの皆様に知っていただき、地域の交流の場として活用を図る為、簡単な手芸、フラワーアレンジ等の講座を行う。

- 3. 運営委員会の委員改選と委員会の開催をします。(委員は1期2年、前年5月8日火曜日開催)

4. 地域社会との連携

- (1) 第31回天竜かっぱ祭りの開催に貢献する。 8月24日(土)開催予定
- (2) ホタルとアヤメの里づくりの会による「ホタルの里」づくりをすすめる。
- (3) ふれ愛なかっぱ市の開催に貢献する。
- (4) 天竜かっぱウォーキングの開催に協力します。
- (5) フットパス・ジャンボリーの開催に協力します。
- (6) その他 地域振興に資する取り組みに協力する。